



地震への興味で、地学系に

幼い頃から続けていた野球を高校でも続けました。高校では野球部での活動が中心の生活でしたが、昼休み後には毎日小テストがあったため、普段から勉強する習慣をつけるため、部活の仲間と練習後に一緒に勉強してから家に帰るような生活でした。また、テスト期間には特に集中して勉強に取り組みました。

進路を考えたとき、当時は地震に興味がありました。地形、地質などを学べる関東の大学を目指していました。共通テスト後に、進路を再考することになりました。地元である富山大学に都市デザイン学部というものがあると家族からの助言をもらって、進路として考えました。自分が学びたいと思っている分野の研究ができること、同じ高校からも仲の良い友人が進学するということで、安心感もあり富山大学都市デザイン学部地球システム科学科へ進学しました。

学ぶ中で、本当にやりたいことと出会う

都市デザイン学部には学科が3つあります。学部全体の授業を受ける中で、建設コンサルタントという仕事を知り、興味を持ちました。将来、自分も地震に強い構造物をつくる仕事に携わりたいと考えたとき、地震そのものを学ぶよりも、都市・交通デザイン学科で構造や地盤などを幅広く学ぶ方が、自分の目指す方向に近いと考えました。転学科というシステムを知り、当時の指導教員に相談しました。都市交通デザイン学科の先生に繋いでもらい、双方の先生に相談して、1年次の後期からは地球システム科学科と都市・交通デザイン学科の両方の授業を履修しました。2年次から都市・交通デザイン学科で学ぶことにしました。

ラグビー部と学業の両立で学んだこと

入学後から、一人暮らしを始めました。部活動も、新しいことを始めてみたいと思いラグビー部に所属しました。週に2回練習があり、忙しくなると課題や予定の管理が後回しになることがありました。実家とは違い、すべて自己管理のもとに成り立つということを痛感し、徐々に計画を立てて行動できるようになっていきました。

研究と就職活動で多忙な日々

学部4年次から卒業研究を経験し、研究の楽しさを実感しました。もう少し研究を続けたい思いがあり、修士に進み、現在は就職活動と研究を進める日々です。転学科のきっかけになった建設コンサルタントを目指し、インターンシップに参加しています。



母校の後輩たちへ

何事にも全力で取り組んでほしいです。勉強だけではなく、部活動や学校行事など今しかできないことに一生懸命取り組んでください。何かに全力で取り組んだ経験は、受験だけではなくその後の人生でも役立ちます。また、今のうちから将来自分がどのようなことをしたいのかを考えてください。大学に入ってから興味や考えが変わることもあるので、焦らず、自分がやりたいことを見つけていってください。皆さんが充実した高校生活を送り、それぞれの目標に向かって頑張ってほしいと願っています。

お世話になった先生方へ

高校時代は部活動に集中していたため、勉強がおろそかになってしまうこともありました。しかし、部活動を引退して受験勉強を始めてからは、先生方が親身になって指導していただき、そのおかげで富山大学に合格することが出来ました。志望校を決める際にも先生方が背中を押してくださったことが大きな支えとなりました。高校時代に支えていただいた先生方に、心から感謝しています。